

地方創生臨時交付金を活用した 新型コロナウイルス感染症に対応する町の 取り組みを紹介します

町では、令和3年度も前年度に引き続き、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援するため、次のような事業を実施しました。

(国に提出した「実施計画」のうち地方単独事業分として計上された金額に基づく)

●子育て支援 4043万4千円

- ・大治町子育て世帯への臨時特別給付金事業
- ・児童センターに玩具の紫外線殺菌庫を購入

●学校のコロナ対策 3515万6千円

- ・教室の換気を行う際の害虫等の侵入対策として網戸を設置
- ・感染症対策として保健室にシャワーの設置 など3事業

●対面・接触機会の低減

3178万4千円

- ・本町が保有するさまざまな地図情報をインターネット上で公開する公開型GISの導入
- ・教室、講座等をインターネットで配信するための環境整備事業(公民館、スポーツセンター) など6事業

●公共施設のコロナ対策 1976万1千円

- ・役場での分散勤務およびテレビ会議環境の拡充
- ・換気を行う際の害虫等の侵入対策として網戸を設置(公民館、スポーツセンター) など14事業

●その他の住民・事業者向け事業 1261万7千円

- ・町公共施設および町内保育所等における、新型コロナウイルスの濃厚接触者等に対するPCR検査の実施
- ・自動翻訳機能の導入などにより平時およびコロナ禍等における情報発信の強化を目的とした町公式ホームページのリニューアル など3事業

●地域経済の支援 1005万2千円

- ・大治町新型コロナウイルス感染症対策強化支援補助金交付事業(Withコロナ応援補助金)

問合せ先 役場 企画課 内線163

